



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第111号

2013.4.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつかっています。

## もくじ

### お知らせ

- ー開館日について
- ースタッフ紹介
- ー会員募集について

### 活動報告

- ー早春のトレッキング

### 観察会案内

- ーサクラソウの観察会
- ー大瀆山の春植物観察会
- ーブナ林の野鳥観察会

## お知らせ

### ●開館日についてのお知らせ

高原の自然館の開館日が近づいてきました。今年も多くの方々のご来館をお待ちしております。

開館期間：4月25日～11月25日

開館時間：10:00～15:00

休館日：毎週火曜日

### ●スタッフ紹介

2013年度の高原の自然館のスタッフを紹介しま  
す。自然館の窓口で、フィールドで、気軽にお声を  
かけてくださいね！

学芸員：白川勝信（北広島町教育委員会）

受付事務：河野弥生・有光真教

（NPO 法人西中国山地自然史研究会）

### ●会員を募集しています

2013年度の西中国山地自然史研究会の会員を募  
集しています。

新規希望者には、賛助会員・正会員のどちらかを  
明記して、会費を下記口座にお振り込みください。  
入金を確認された時点で会員の登録をさせていただきます。  
会員継続の方には、振り込み用紙を送付してま  
す。

口座名義：特非）西中国山地自然史研究会

口座番号：01380-9-48793

会費：正会員 5000円・賛助会員 2000円

特典：会報の送付

主催イベントへの招待

出版物の会員価格利用

総会における議決権（正会員のみ）

## 観 察 会 報 告

### ● 早春のトレッキング

開催日時：2013年3月24日（日）10:00

講師：上野吉雄

春霞の空で日差しの暖かさを感じる中、高原の自然館前に21名が集まりました。今回のトレッキングは自然館の裏を回り、千町原を通り、道路に出て一周するコースです。「今の時期にしか見えないものや、鳥が見られるかもしれませんよ」と、講師である上野先生の言葉に期待しながら出発しました。

出発してすぐ、ハタネズミのトンネルや、ノウサギの糞など、冬に動物が生活をした跡を見つけました。「これらは日が進んでいくと見えなくなるため、見ることができるのは今だけ」と、上野先生が解説されました。他にもモグラ塚を見たり、コガラやウグイスのさえずりを聞いたりしながら進んでいきます。進む先では、ホオジロを観察することができました。千町原に着くと、イカルやトビをしっかりと見ることができました。トビが、すぐ近くで急降下し、カエルを捕らえる瞬間を観察しました。一瞬でしたが、とても印象に残りました。

他にも冬枯れのタムラソウや、レンゲツツジの果実と冬芽、ウスタビガの繭など冬と春の境目を感じるものを見つけました。観察していると少し離れた所からアカゲラのドラミングを聞くことが出来ました。「ドラミングは餌を捕るためではなく、縄張りの主張や求愛の時に鳴らす音」と、解説されました。観察会も終盤に近づき、千町原のシンボルであるヤマナラシの近くまで来ました。木製の車両止めの根本を観察してみると、ワラジムシ、ザトウムシなどを見つけました。地面との隙間を縫うように入り、冬をしのぐ姿に驚かされていました。虫の観察が終わると、ホオジロを見つけました。木の枝に長時間じっとしていたので、ゆっくり見ることができました。肉眼で見たり、フィールドスコープを覗き込んだりと様々な楽しみ方をしました。しばらくすると、すぐ近くの空にオオタカも姿を見せてくれました。臥竜山の稜線を越え姿が見えなくなるまで観察しました。今年は雪がなく、鳥、昆虫、動植物などからも、少しずつ八幡に春が近づいて来ていることを感じら

れた観察会となりました。

[ はたもとやすひこ ]



例年なら残雪がある八幡もこの通り。上野先生からコースの説明を受ける参加者たち。



「あ、鳥がいる！」トビでした。



おーいの丘では草原に棲むノスリを待ち空を見上げるものの、今回は出会えなかった。



レンゲツツジも目立っていた。



ザトウムシやムカデを観察。おそろおそろ覗き込む子どもたち。



子どもたちは観察の合間に遊んでみたり・・・



ヤマナラシの樹皮は特徴的。ぜひ触って感じてみてほしい。

### 【みなさんの印象に残った物】

「トビがエモノをとりに急降下したこと」「イカルを見たことが良かった」「モグラの掘り起こした土が沢山あっておどろいた」「テンが巣を作るのに家の壁を登っている」「ハタネズミの通路,モグラ塚」「緑のマユ(3)」「ワシ, タカがネズミのおしっこが見えるというお話」「タカが見れたこと, ガのまゆ」「ヨシというものをみたこと」「ヤマナラシの大木」「トビがカエルをとったこと」「ホオジロを見たこと」「ヤマナラシの大木と花が見れた事, オオタカの飛ぶ姿」「ムカデ, 虫たちの冬の隠れ場をひっくり返して面白かった」

### 【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「今年は雪も少ないのでビックリです」「天気に恵まれていい山歩きでした」「春の予感」「楽しかった (2)」「1月の雪の時と同じコースだったが, 春の生き物の動きを感じることができた」「春らしさを感じられた」「おてんきがよくてあったかくてたのしかったです」「動物や植物がいっぱいあったこと」「楽しかったです。早春の木の芽勉強しました」「なかにさなぎがしんでいた」「色々な生き物が見れて良かったです」「雨の予報がいいお天気になって大変楽しく歩いて, たくさんの動物の跡が見られて良かったです」「もうすっかり春でトビも観察できてよかったです」「鳥をいろいろ教えていただき良かったです」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● サクラソウの観察会

開催日時：2013年5月6日（月・祝）9:30

集合場所：美和東文化センター

講師：暮町昌保・下杉孝・白川勝信

準備：基本セット

定員数：30名

参加費：一般 = 300円

賛助会員 = 100円

正会員・中学生以下 = 無料

北広島町美和地区では、芸北のサクラソウを保存し、育成する活動を2000年から続けてきました。そのサクラソウ保全の取り組みについて、地域の方からお話を聞き、サクラソウの花も観察します。ここでしか観察できない貴重な機会です。

### ● 大潰山の春植物観察会

開催日時：2013年5月18日（土）9:30

集合場所：高原の自然館

講師：暮町昌保・佐久間智子

準備：基本セット、お弁当

定員数：30名

参加費：一般 = 300円

賛助会員 = 100円

正会員・中学生以下 = 無料

大潰山はツツジの山として知られていますが、山頂までの林内には炭焼き釜の跡が見られ、頂上周辺には草原が残る、昔から人が利用してきた里山です。ツツジの仲間やスミレの仲間、オオカメノキやクロモジといった春植物と一緒に人が利用してきた里山の様子を観察します。

### ● ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2013年5月19日（日）5:00

集合場所：雪霊水

講師：上野吉雄

準備：基本セット、双眼鏡、あればフィールドスコープ

定員数：30名

参加費：一般 = 300円

賛助会員 = 100円

正会員・中学生以下 = 無料

早朝のブナ林で野鳥の観察会です。夏鳥のコルリ・クロツグミ・キビタキ・オオルリや、留鳥のミソサザイ・ヒガラなどのさえずりや姿を観察します。運が良ければアカショウビンに会えるかも。毎年、同じ時期に観察会をする事で、臥竜山の野鳥の移り変わりについて、記録します。



サクラが満開になるこのシーズンは特に天気の方が気になります。外に出て開館準備をしている傍では、アオゲラ達が競い合う様にさえずりをあげていました。地面に目を向けると今年花を咲かせようとする若葉が顔を覗かせています。自然館の開館まであと少し。今年も多くの方々の来館をお待ちしております。（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)